



## 令和2年度末人事異動における富高転入職員から富高生へのメッセージ



「自分磨き」

国語科 澁谷 瑞恵 (藤岡中央高校)

この春、藤岡中央高校より赴任しました、国語科の澁谷です。よろしくお願いします。  
私のお気に入りの本の一冊に『星の王子さま』があります。(子供の頃は読んでも内容が全くわからず、大人になってミュージカルで感動したのがきっかけです)「ものごとはね、心で見なくてはよく見えない。いちばんたいせつなことは、目に見えない」という台詞が印象的です。見えないものを育てるのは大変ですが、とって大事なこともあるはず。高校時代に色々な経験をとおして「こころ」を育てて欲しいなと思います。



「挑戦」

国語科 伊藤 博一 (高崎東高校)

皆さんこんにちは。今年度、高崎東高校から赴任しました、国語科の伊藤博一です。日本の偉人に似たような名前の方がいますが、間違わないようにしてください。私は博文ではありません。

さて、みなさんは「新しいこと」や「難しいこと」にチャレンジできていますか。昨今のめまぐるしく動く情勢の中、大切なことは「とりあえず挑戦してみる」の精神だと思っています。私は皆さんの「とりあえず挑戦してみる」を応援するためにやってきました。よろしくお願いします。



「過保護でもなく放任でもなく」

地歴公民科 梅澤 英明 (前橋西高校)

3月末に前橋西高校を最後に定年退職しましたが、再任用という形で赴任いたしました。富岡市の生まれですが、地元で勤務するのは初めてです。富岡高校の生徒、そして富岡高校に、少しでも多く貢献していきたいと思っています。

ここ数年、密かに花作りを楽しんでいます。タネから苗を作るようにしていますので、思いの外、沢山の花を育てることになります。いうまでもありませんが、種類や株の違い等により、水遣りや肥料の与え方、適した環境などが異なります。手をかけすぎたり肥料などを与えずでも、逆に手をかけなすぎても上手くいきません。他者との関わり方とも似ているようなところがあるようです。どうぞよろしくお願いいたします。



「富高生へ」

地歴公民科 嶋崎 仁美 (高崎経済大学附属高校)

富岡高校は私にとって4校目の学校です。新しい環境、職務に就くたびに感じるがあります。どんな経験でも、いずれ必ず役に立つときが来るということ。はじめに学校司書として赴任した学校では、学生時代の本屋でのアルバイト経験が。その後の勤務校では司書の経験と学生時代の部活動や趣味が生きました。みなさんにも、日々の生活の中で、これは一体何の役に立つのだろう？ムダだなあ。と、感じることもあるでしょう。しかし、その「ムダ」こそ大切にしたいと思っています。本当にムダなことになってしまうのか、それとも、うまく生かして糧とするかは、自分次第です。



「ピンチはチャンス」

数学科 黒澤 直哉(万場高校)

この春、万場高校から赴任しました黒澤直哉と申します。旧富岡高校は私の母校です。また、富岡東高校は私の初任校となります。2校の伝統を受け継いだこの富岡高校で勤務できることを大変光栄に感じています。

いわゆる「コロナ禍」で、今までの常識が通用しません。このようなときこそ、一人ひとりの信念や発想、それを実行する行動力や説得力が試されます。現状をどのように良くしていくか、常に考えながら3年間、そしてその先を過ごしてほしいと願っています。



「すべては一瞬のために」

健体育科 市川 武(中央中等教育学校)

この度、中央中等教育学校から赴任した保健体育科の市川武です。よろしくお願いいたします。

現在、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい続け、今なお世界中の人々が苦しんでいます。1日でも早く世界に平和が訪れることを切に願うと同時に、我々は明日を生きたくても生きられなかった方々の分まで1日1日を大切に日々全力で生きる使命があると感じています。

どんなに時代が変わったとしても、人との出会い、縁、絆を大切にしながら、心の羅針盤に従い「すべては一瞬のために」命の灯火を燃やし続け指導にあたりたいと思います。



「心と体を大切に」

養護教諭 郷 由梨(松井田高校)

今年度、松井田高校より赴任しました、養護教諭の郷由梨です。皆さんと関わる機会が少ないですが、校内ですれ違うと気持ちのよい挨拶が返ってきて、礼儀正しく明るい生徒が多い印象を受けました。また、勉強に部活動に一生懸命取り組んでいる姿に感心しました。夢や目標に向かって頑張っていく皆さんを支えるのは健康です。皆さんが健康で充実した学校生活を送れるように、心や体の健康面でサポートしていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



「文化財の中で学ぶ幸せ」

英語科 森 英也(渋川高校)

今年度、渋川高校から赴任しました、英語科の森英也です。富岡高校は敷地内に「旧七日市藩藩邸(黒門・御殿)」の重要文化財を有する学校だと聞かされて参りました。実際に赴任すると、校庭の南側には「蛇宮神社」が鎮座し、また敷地南西に「七日市第7号古墳」が営まれているということも判明しました。さらに蛇宮神社境内にも数基の古墳が見られます。敷地内に文化財を有するというより、むしろ文化財に囲まれた、あるいは文化財の中に建てられた学校だと実感しています。日本の古からの文化が大好きな私にとって、この環境で生徒諸君の学習・生活をサポートできるのは、とても幸せなことです。一緒に頑張りましょう。よろしくお願いいたします。